

国内自転車生産・輸出入状況（平成25年1～9月）

1. 我が国の自転車生産

経済産業省生産動態統計調査によると、平成25年1～9月の我が国の完成自転車生産台数は710,852台、完成自転車生産金額は312億400万円であった。これらを前年同期と比較すると、生産台数は9.0%減、金額は0.4%減となっている。一方で平成25年1～9月の完成自転車生産平均単価は43,897円となっており、前年同期の40,096円から9.5%上昇した。この模様を表1に示す。

表1 平成25年1～9月の我が国自転車生産

	総台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成25年1～9月	710,852	31,204	43,897
平成24年1～9月	781,456	31,333	40,096
変化	-70,604	-129	3,801
変化%	-9.0%	-0.4%	9.5%

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成25年1～9月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。1～6月までの時点では3つの全ての車種で台数・金額とも減少していたが、1～9月になると電動アシスト自転車の生産台数及び生産金額が前年同期と比較し増加に転じた。一方で「軽快車」は台数で25.3%、金額で21.2%と大きく減少したほか、「その他」も台数・金額ともに減少を示している。

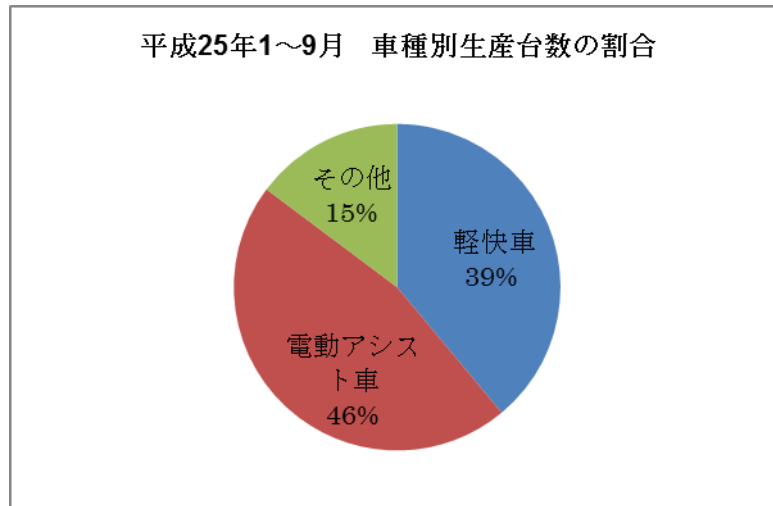
表2 車種別生産状況 平成25年1～9月と平成24年1～9月との比較

1～9月	平成25年		平成24年		変化			
	台数	金額 (百万円)	台数	金額 (百万円)	台数	%	金額 (百万円)	%
軽快車	276,804	5,377	370,478	6,820	-93,674	-25.3	-1,443	-21.2
電動アシスト車	329,120	23,335	305,740	21,962	23,380	7.6	1,373	6.3
その他	104,928	2,493	105,238	2,552	-310	-0.3	-59	-2.3
計	710,852	31,204	781,456	31,333	-70,604	-9.0	-129	-0.4

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

表2を基に平成25年1～9月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」の比率が最も多く46%、「軽快車」がこれに次ぎ39%を占めていることがわかる。

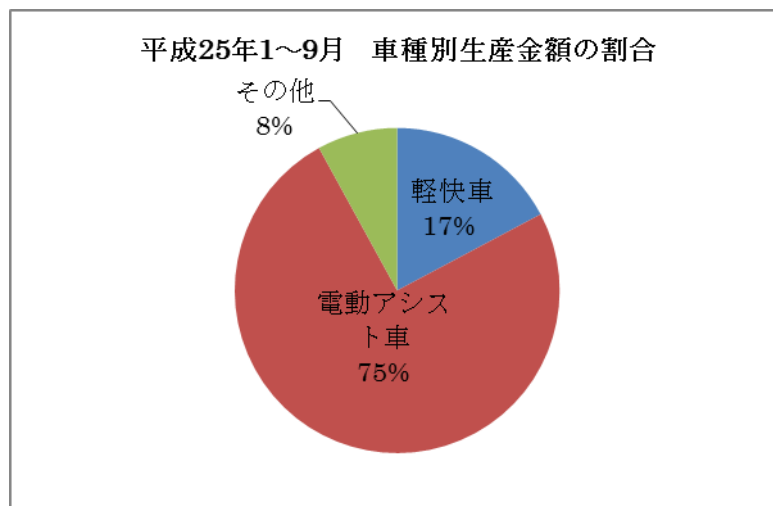
図A



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に平成25年1～9月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」は1～6月の73%から更に割合が増えて75%と大きな割合を占めている。

図B



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成25年1～9月と平成24年1～9月とを比較したものを表3に示す。「電動アシスト車」の平均単価が前年同期と比較し1.3%下落したほか、「その他」のものも2.0%下落した。

表3 車種別生産平均単価 平成25年1～9月と平成24年1～9月との比較

車種	平成25年1～9月 平均単価(円)	平成24年1～9月 平均単価(円)	変化(円)	変化(%)
軽快車	19,425	18,409	1,017	5.5
電動アシスト車	70,901	71,832	-931	-1.3
その他	23,759	24,250	-491	-2.0
計	43,897	40,096	3,801	9.5

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の「電動アシスト車」の生産台数・生産金額・平均単価を調べてみると表4のとおりとなる。平成25年1～9月の生産台数は329,120台で、前年同期の305,740台から7.6%増加した。また平成25年9月の「電動アシスト車」の生産台数は36,227台で、前年9月の24,713台から47%も増加している。また平成25年2月の「電動アシスト車」の生産平均単価は60,503円と、他の月に比べると極端に低かったが、その後本年3～9月の生産平均単価は、若干の上昇下落を繰り返しながらも概ね平均的水準で推移していると言ってよいと思われる。平成25年1～9月の生産平均単価は70,901円で、前年同期の71,832円から1.3%ほど下落したものの、9月単月で見ると、本年9月は73,840円で、昨年9月の70,853円から4%強上昇している。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成25年と平成24年との比較

	平成25年			平成24年			平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	
1月	33,738	2,476	73,389	35,535	2,501	70,381	3,008
2月	35,833	2,168	60,503	40,781	3,003	73,637	-13,134
3月	42,603	3,064	71,920	40,025	2,864	71,555	365
4月	40,518	2,890	71,326	38,387	2,741	71,404	-78
5月	34,197	2,482	72,579	37,358	2,647	70,855	1,724
6月	36,196	2,500	69,068	35,022	2,534	72,355	-3,286
7月	37,811	2,782	73,576	30,712	2,183	71,080	2,497
8月	31,997	2,298	71,819	23,207	1,737	74,848	-3,029
9月	36,227	2,675	73,840	24,713	1,751	70,853	2,987
1～9月	329,120	23,335	70,901	305,740	21,962	71,832	-931

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

2. 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成25年1～9月における、「生産」、「受入」、「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況
平成25年1～9月と平成24年1～9月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			月末在庫 (台)
	台数	金額 (百万円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額 (百万円)		
平25.1～9 軽快車	276,804	5,377	1,034,872	1,114,230	16,411	253,599	89,286
平24.1～9 軽快車	370,478	6,821	1,210,995	1,322,016	18,829	288,910	98,177
変化 %	-25.3	-21.2	-14.5	-15.7	-12.8	-12.2	-9.1
平25.1～9 電動アシスト車	329,120	23,335	228,445	334,181	23,037	222,439	23,211
平24.1～9 電動アシスト車	305,740	21,962	211,397	306,022	20,857	205,210	28,876
変化 %	7.6	6.3	8.1	9.2	10.5	8.4	-19.6
平25.1～9 その他	104,928	2,493	448,987	447,574	7,334	112,020	61,393
平24.1～9 その他	105,238	2,552	524,104	505,589	7,613	110,500	73,534
変化 %	-0.3	-2.3	-14.3	-11.5	-3.7	1.4	-16.5
平25.1～9 全車種計	710,852	31,204	1,712,304	1,895,985	46,782	588,058	173,890
平24.1～9 全車種計	781,456	31,333	1,946,496	2,133,627	47,297	604,620	200,587
変化 %	-9.0	-0.4	-12.0	-11.1	-1.1	-2.7	-13.3

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

「受入」台数についてみると、平成25年1～9月の全車種の「受入」台数は平成24年1～9月の「受入」台数に比べ12.0%減少した。車種別には、「軽快車」が14.5%減少、幅広い車種を含んでいる「その他」のものが14.3%減少した一方で、「電動アシスト車」の「受入」台数は8.1%増加した。「受入」台数の多くは自転車生産企業が輸入した自転車台数と推測される。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成25年1～9月の全ての車種の「出荷・販売」台数は平成24年1～9月のそれに比べ11.1%減少した。車種別にみると、「軽快車」が15.7%減少したほか「その他」が11.5%減少した一方で、「電動アシスト車」は9.2%増加した。「出荷・販売」金額については、全車種では1.1%と前年同期比僅かに減少し、車種別では「軽快車」が12.8%、「その他」が3.7%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は10.5%増加した。

平成25年1～9月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成24年1～9月のそれに比べ2.7%減少した。車種別にみると、「軽快車」が12.2%減少した一方で、「電動アシスト車」が8.4%、「その他」が1.4%各々増加した。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成25年9月の全車種の「月末在庫」台数は173,890台で、前年同月の200,587台から13.3%減少した。車種別には全ての車種で減少を示しており、

「電動アシスト車」が19.6%減少したほか、「軽快車」が9.1%、「その他」のものが16.5%減少した。

表6に平成18年から平成25年まで過去8年間の毎年1～9月の我が国の自転車生産、出荷及び9月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～9月の自転車生産・出荷及び9月末在庫の過去8年間の推移

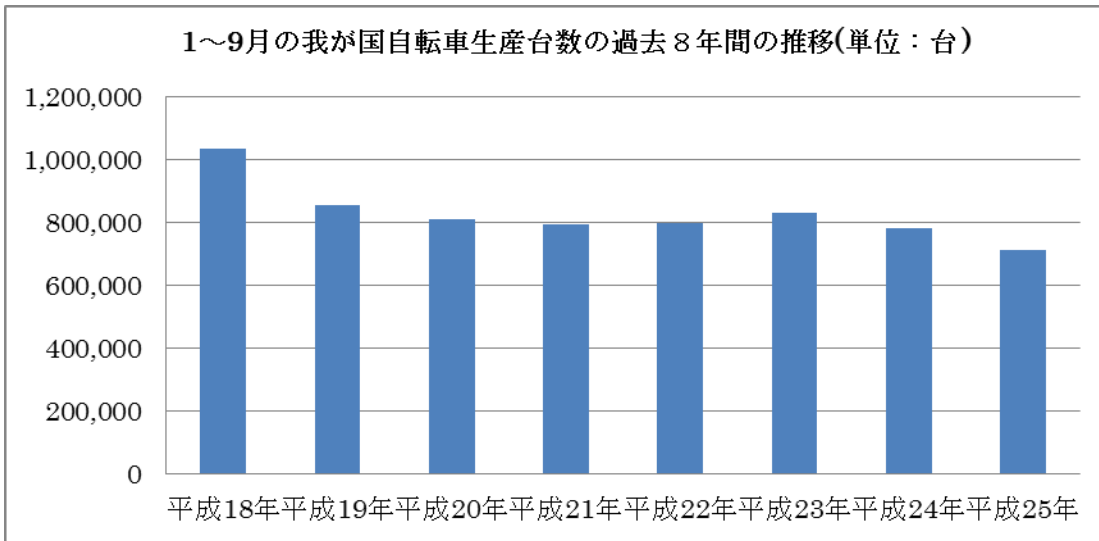
1～9月	生 産			出 荷			月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成25年	710,852	31,204	43,897	1,895,985	46,782	24,674	173,890
平成24年	781,456	31,333	40,096	2,133,627	47,297	22,167	200,587
平成23年	831,406	32,806	39,458	2,422,142	51,603	21,305	184,768
平成22年	797,261	28,239	35,420	2,423,522	46,421	19,154	157,379
平成21年	792,224	25,658	32,387	2,462,655	44,583	18,104	172,896
平成20年	810,141	20,776	25,645	2,752,694	41,622	15,120	154,625
平成19年	854,776	18,946	22,165	2,877,110	37,741	13,118	168,033
平成18年	1,031,806	19,538	18,936	3,173,847	37,994	11,971	190,393

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成25年1～9月の「生産台数」は過去8年間で最低、「生産金額」は過去8年間で3番目に多くなっている。これらの事から「生産平均単価」は過去8年間一貫して上昇を続けており、平成25年1～9月は43,897円と最高となっている。また平成25年1～9月の「出荷台数」は過去8年間で最低、「出荷金額」は過去8年間で3番目に多く、これらの事から生産の場合と同様、「出荷平均単価」も24,674円と過去8年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が8年間一貫して高くなっている。「9月末在庫台数」は173,890台で、過去8年間で4番目に多くなっており、この推移の中では標準的な水準にある。

表6を基に平成18年から平成25年までの過去8年間の毎年1～9月の「生産台数」の推移をグラフで示したものが図Cである。平成21年から平成23年にかけて若干増加傾向にあったものの、平成24年、平成25年と再び減少傾向にあることが示されている。

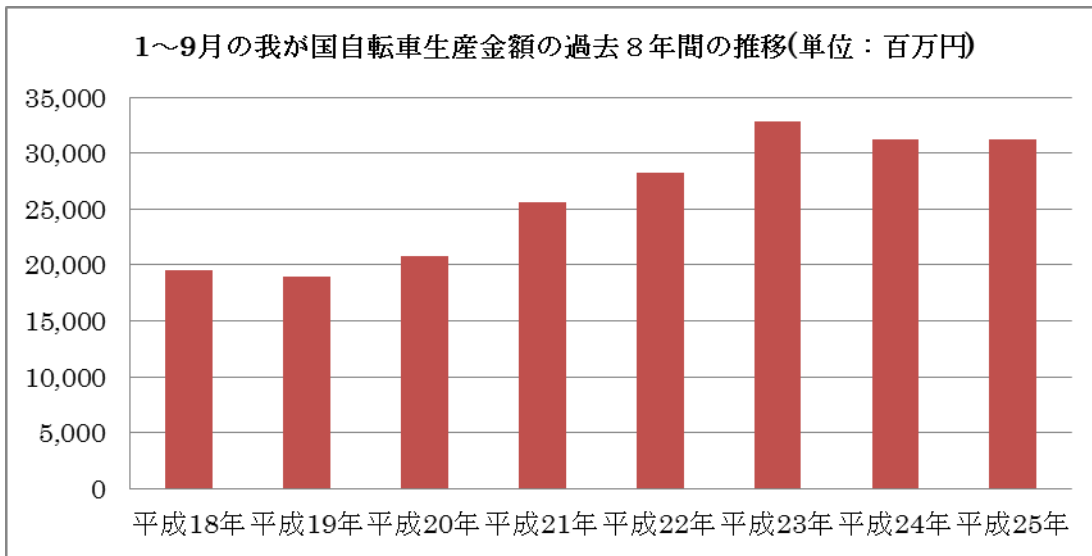
図 C



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に平成18年から平成25年までの過去8年間の毎年1～9月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。平成23年まで順調に増加してきたが、平成24年から減少傾向を示している。

図 D



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3. 我が国の自転車輸入

表7は平成25年1～9月の全ての車種の自転車の我が国への輸入の様相について前年同期と比較しながら示したものである。輸入総台数は7.2%減少した一方、輸入総CIF金額は7.3%増加した。これらの結果、平均CIF単価は平成24年1～9月の8,526円から平成25年1～9月の9,866円へと15.7%上昇した。

表7 平成25年1～9月の我が国の自転車輸入 平成24年1～9月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成25年1～9月	6,164,050	60,817,427	9,866
平成24年1～9月	6,645,307	56,656,703	8,526
変化	-481,257	4,160,724	1,341
変化%	-7.2	7.3	15.7

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表8は平成25年1～9月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表8 平成25年1～9月 我が国の車種別自転車輸入

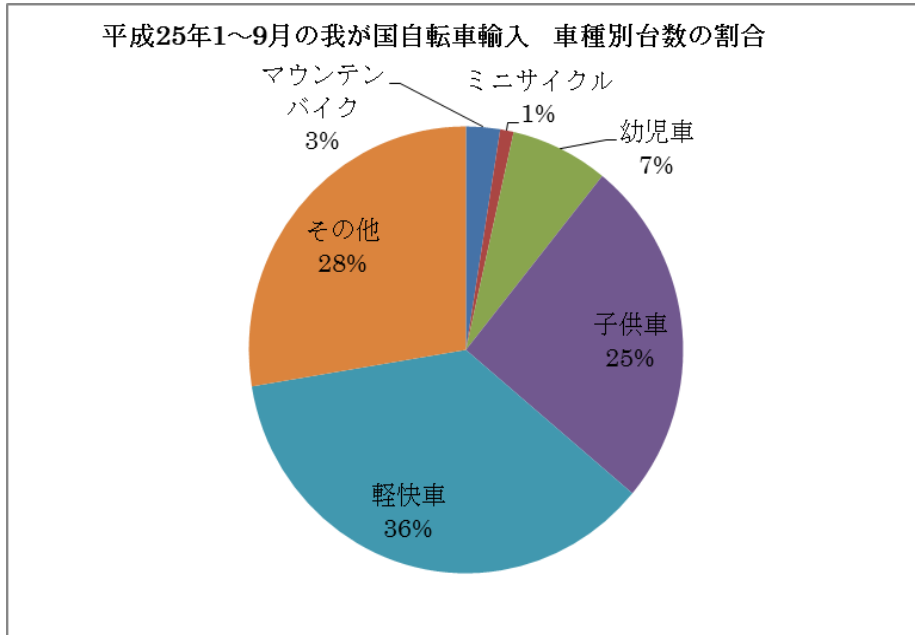
関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	155,838	3,262,711	20,937
8712.00211 ミニサイクル	61,608	752,723	12,218
8712.00218 幼児車	448,419	2,782,083	6,204
8712.00219 子供車	1,559,473	12,996,797	8,334
8712.00291 軽快車	2,236,418	19,176,351	8,575
8712.00299 その他	1,702,294	21,846,762	12,834
計	6,164,050	60,817,427	9,866

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100に分類される「マウンテンバイク」は、平均CIF単価が20,937円と最も高くなっている。8712.00211に分類される「ミニサイクル」の台数は61,608台と6つの輸入車種区分の中では最低であるが、平均CIF単価は12,218円と比較的高くなっており、高価な小径車がこの区分の中に含まれているものと思われる。また8712.00291に分類される「軽快車」は輸入台数が最も多く、平均CIF単価は8,575円となっている。更に8712.00299に分類される「その他」にはスポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれるが、台数は6つの車種区分の中で2番目、総CIF金額は最大となっており、平均CIF単価は12,834円と「マウンテンバイク」に次いでいる。

表8を基に、平成25年1～9月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Eである。「軽快車」が36%を占め、次いで「その他」が28%を占めている。

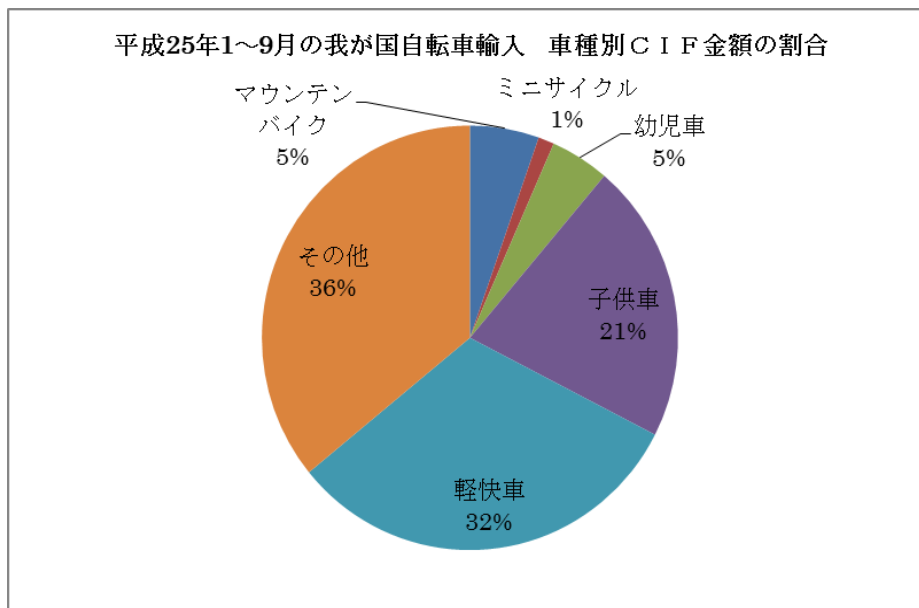
図 E



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 8 を基に、平成 25 年 1～9 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 F である。「その他」が 36%、「軽快車」が 32%と大きな割合を占め、これら二つで 68%を占めている。

図 F



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

尚、輸入における関税番号及び車種は以下のとおり分類されている。

表 9 輸入における車種区分 関税番号

品名区分／関税番号	車 種
8712.00100 マウンテンバイク	・ MTB(V ブレーキ・ Disk ブレーキ装着車を含む) ・ クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ ミニサイクル ・ 小径折りたたみ車 ・ BMX
8712.00218 幼児車	・ 幼児車(12～16 吋) ・ 乗用玩具(12 吋二輪車) ・ 一輪車(12～16 吋)
8712.00219 子供車	・ 子供車(18～24 吋) ・ Jr.MTB(18～24 吋) ・ 一輪車(18～24 吋)
8712.00291 軽快車	・ 軽快車(外装変速機付は含まない) ・ シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・ スポーツ車 ・ 外装変速機付軽快車 ・ Jr.MTB(26 吋)

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

表 10 は平成 25 年 1～9 月の車種別の我が国への自転車輸入について去年同期と比較しながら示したものである。

表 10 我が国の車種別自転車輸入 平成 25 年 1～9 月と平成 24 年 1～9 月との比較

1～9 月 車種	平成 25 年		平成 24 年		変化 %	
	台数	CIF 金額 (千円)	台数	CIF 金額 (千円)	台数	CIF 金額
8712.001 マウンテンバイク	155,838	3,262,711	263,293	4,586,256	-40.8%	-28.9%
8712.0021 ミニサイクル	61,608	752,723	73,898	682,486	-16.6%	10.3%
8712.0022 幼児車	448,419	2,782,083	520,291	2,637,931	-13.8%	5.5%
8712.0022 子供車	1,559,473	12,996,797	1,625,858	11,217,151	-4.1%	15.9%
8712.0029 軽快車	2,236,418	19,176,351	2,412,687	17,516,206	-7.3%	9.5%
8712.003 その他	1,702,294	21,846,762	1,749,280	20,016,673	-2.7%	9.1%
計	6,164,050	60,817,427	6,645,307	56,656,703	-7.2%	7.3%
平均単価(円)		9,866		8,526		15.7%

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

台数では全ての車種で減少している。このうち「マウンテンバイク」は40.8%と大きく輸入台数が減少している。また輸入台数の最も多い「軽快車」は平成24年1～9月の2,412,687台から平成25年1～9月の2,236,418台へと7.3%減少した。

金額では、台数でも大きく減少した「マウンテンバイク」がやはり28.9%と大きく減少した。一方、「ミニサイクル」は10.3%、「幼児車」は5.5%、「子供車」は15.9%、「軽快車」は9.5%、「その他」は9.1%各々金額が増加したため、全車種の総CIF金額は7.3%増加している。

表11は毎年1～9月の我が国への自転車輸入の過去13年間の推移を示したものである。

表11 毎年1～9月の我が国の自転車輸入の過去13年間の推移 全車種

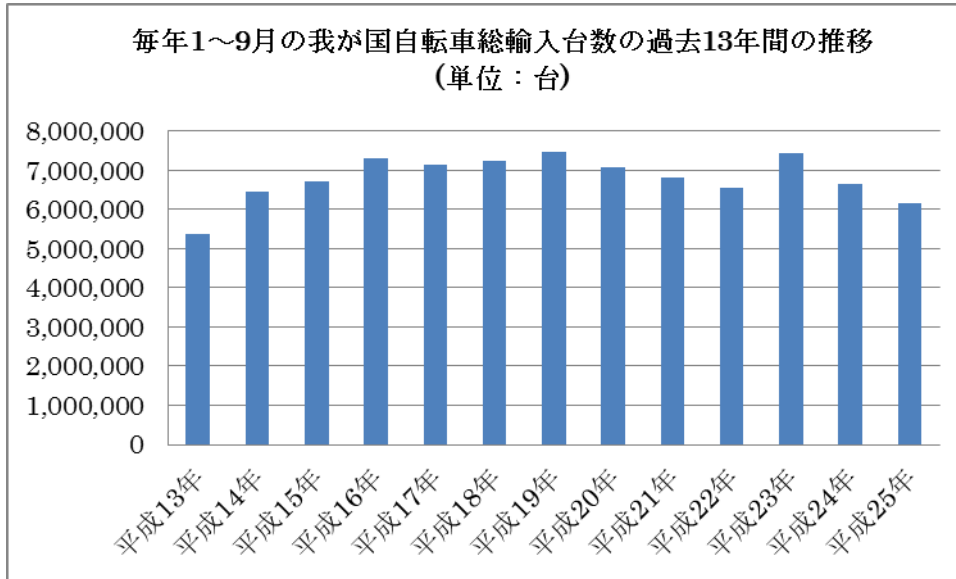
年	総輸入台数	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成25年	6,164,050	60,817,427	9,866
平成24年	6,645,307	56,656,703	8,526
平成23年	7,439,430	57,834,666	7,774
平成22年	6,532,074	50,373,649	7,712
平成21年	6,805,437	56,381,637	8,285
平成20年	7,055,737	59,974,342	8,500
平成19年	7,472,189	57,862,958	7,744
平成18年	7,218,377	50,558,242	7,004
平成17年	7,122,058	44,209,302	6,207
平成16年	7,305,694	43,755,916	5,989
平成15年	6,698,629	43,365,779	6,474
平成14年	6,457,247	44,595,096	6,906
平成13年	5,354,178	32,600,254	6,089

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成25年1～9月の総輸入台数は過去13年で2番目に少なくなっており、平成13年以來の少なさである。一方、1～9月の総CIF金額は過去13年間で最高となっている。これらの事から平均CIF単価は9,866円と、これも過去最高となっている。この金額は、過去13年の推移の中で2番目に高かった平成24年1～9月の8,526円を1,300円以上も上回っている。

表11を基に平成13年から平成25年までの過去13年間の毎年1～9月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図Gである。

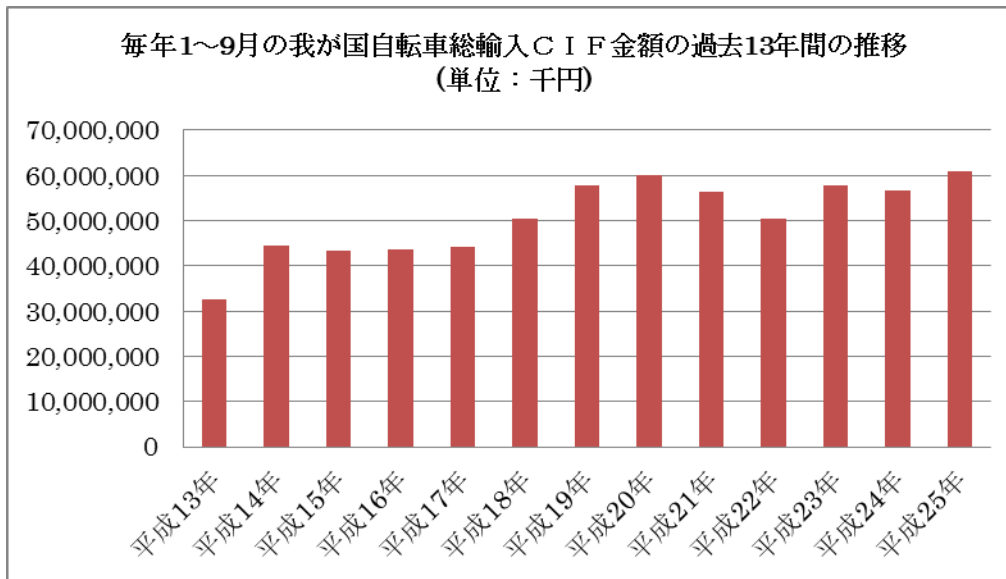
図 G



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に平成 13 年から平成 25 年までの過去 13 年間の毎年 1～9 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 H ある。

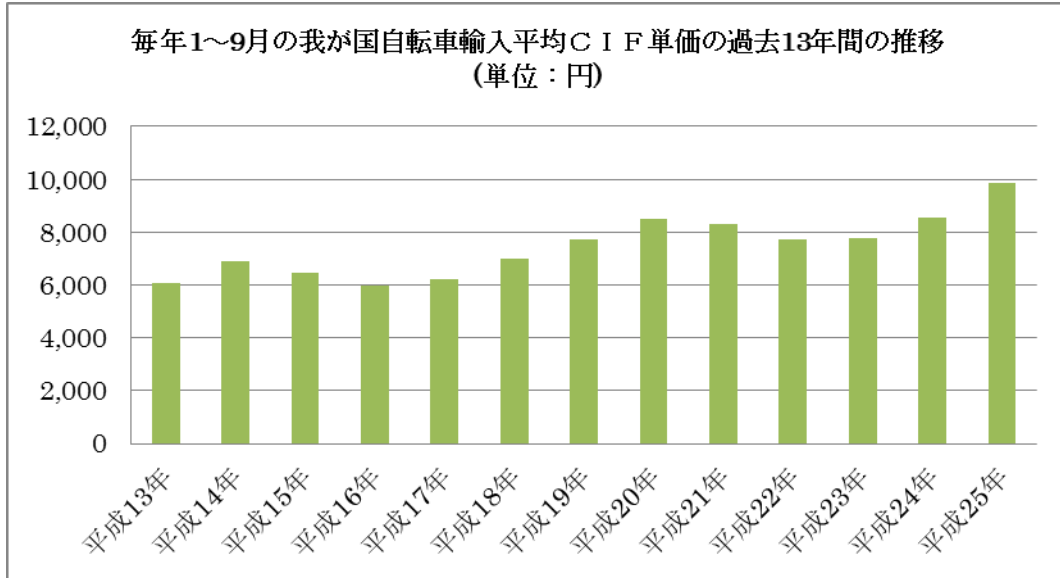
図 H



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 1 を基に平成 13 年から平成 25 年までの過去 13 年間の毎年 1～9 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 I ある。平成 25 年 1～9 月の高さが際立っていることがわかる。

図1



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

総輸入台数の月毎の推移を調べてみると表12のようになる。1月の総輸入台数は過去13年間で4番目に多かったが、本年2月の総輸入台数は729,345台となり過去13年間で5番目の少なさであった。本年3月の総輸入台数は997,586台で平成13年に次ぐ少なさとなった。更に、本年4月の総輸入台数は949,665台と過去13年間で4番目の少なさ、本年5月の総輸入台数は634,542台で遂に過去13年間で最低となり、次いで本年6月の総輸入台数も514,285台で引き続き過去13年間で最低となっていた。そして本年7月の総輸入台数は過去13年間で4番目の少なさ、更に本年8月、9月の総輸入台数はともに過去13年で2番目の少なさとなっている。

表12 月毎の総輸入台数の過去13年間の推移 1月～9月

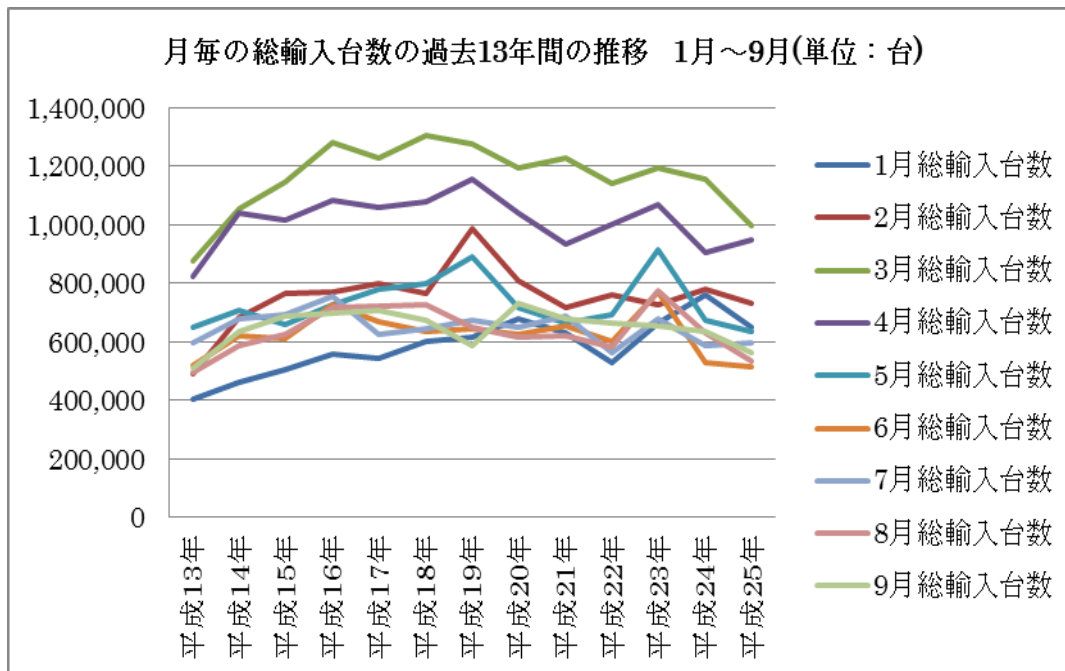
年	1月総輸入台数	2月総輸入台数	3月総輸入台数	4月総輸入台数	5月総輸入台数	6月総輸入台数
平成25年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成24年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成23年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成22年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成21年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成20年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成19年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成18年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成17年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成16年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成15年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329
平成14年	462,594	682,561	1,051,785	1,037,903	705,257	618,883
平成13年	402,134	489,191	875,729	821,736	646,209	520,779

年	7月総輸入台数	8月総輸入台数	9月総輸入台数
平成25年	595,336	535,046	561,806
平成24年	586,024	629,284	631,719
平成23年	675,783	776,045	655,654
平成22年	562,581	582,646	663,734
平成21年	685,910	619,872	677,716
平成20年	646,395	612,531	729,659
平成19年	672,070	649,954	586,098
平成18年	643,767	724,797	673,445
平成17年	626,723	720,123	708,659
平成16年	755,089	715,190	699,179
平成15年	694,160	623,008	684,831
平成14年	678,438	585,452	634,374
平成13年	597,110	492,476	508,814

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表12の月毎の総輸入台数の過去13年間の推移をグラフにより示したものが図Jである。各月の推移を追っていくと、全体として山の形をしているラインが多く、平成13年から平成25年までの過去13年の推移の中では、中ごろの期間の輸入が活発であったことがわかる。また平成25年の輸入台数は各月ともあまり多くない。更に過去13年間を通じ毎年3月の総輸入台数が最高であることも読み取れる。

図 J



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 3 は、毎年 1～9 月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去 13 年間の推移について示したものである。

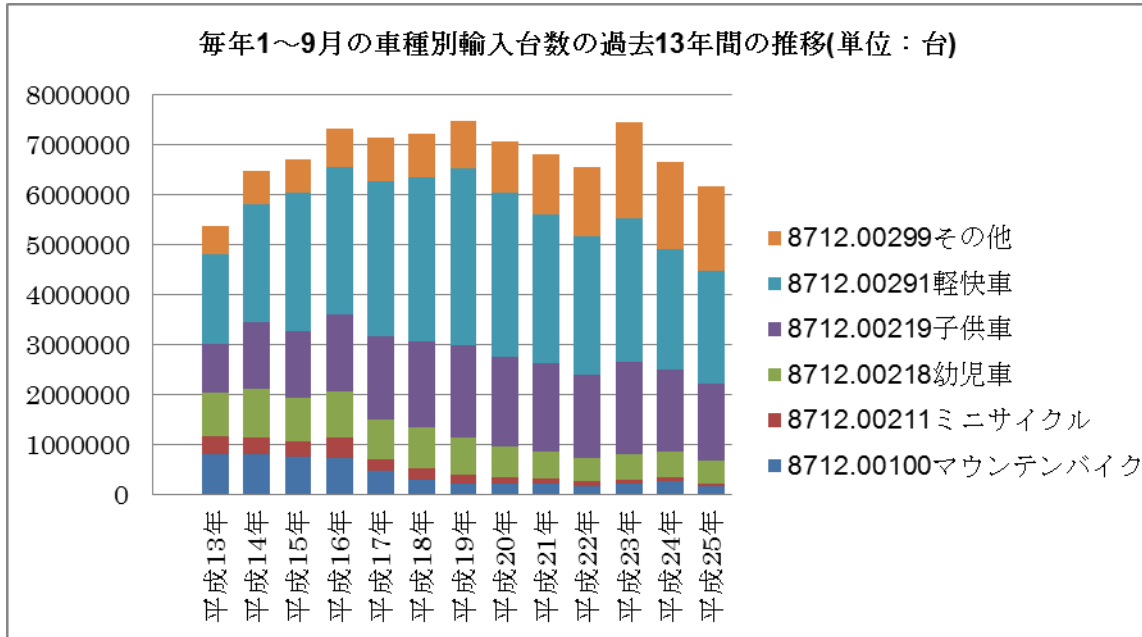
表 1 3 毎年 1～9 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 13 年間の推移

年	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニサイク ル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成 25 年	155,838	61,608	448,419	1,559,473	2,236,418	1,702,294	6,164,050
平成 24 年	263,293	73,898	520,291	1,625,858	2,412,687	1,749,280	6,645,307
平成 23 年	204,466	89,494	507,755	1,838,854	2,874,802	1,924,059	7,439,430
平成 22 年	159,596	100,863	463,636	1,680,444	2,763,673	1,363,862	6,532,074
平成 21 年	221,487	97,949	543,869	1,750,154	2,986,599	1,205,379	6,805,437
平成 20 年	206,337	127,621	617,671	1,795,229	3,282,025	1,026,854	7,055,737
平成 19 年	212,984	180,294	755,253	1,823,903	3,546,312	953,443	7,472,189
平成 18 年	300,333	221,438	812,645	1,712,322	3,304,125	867,514	7,218,377
平成 17 年	476,491	215,266	804,519	1,667,859	3,097,990	859,933	7,122,058
平成 16 年	731,326	411,346	926,063	1,533,653	2,933,335	769,971	7,305,694
平成 15 年	746,735	303,568	882,296	1,343,271	2,749,286	673,473	6,698,629
平成 14 年	815,191	334,919	962,470	1,336,330	2,344,473	663,864	6,457,247
平成 13 年	802,552	354,215	871,272	984,838	1,798,351	542,950	5,354,178

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 25 年 1～9 月の「マウンテンバイク」の輸入台数は 155,838 台、「ミニサイクル」の輸入台数は 61,608 台、「幼児車」の輸入台数は 448,419 台で、これら 3 つの車種については過去 13 年間で輸入台数が最低となっている。更に「子供車」の本年 1～9 月の輸入台数は 1,559,473 台と過去 13 年で平成 16 年以来 5 番目の少なさ、「軽快車」の本年 1～9 月の輸入台数も 2,236,418 台と過去 13 年で平成 13 年以来 2 番目の少なさとなっている。他方「その他」の自転車の本年 1～9 月の輸入台数は 1,702,294 台で、過去 13 年の推移の中では 3 番目の多さではあるが、平成 23 年 1～9 月の 1,924,059 台をピークとして 3 年間減少が続いている。前述の通り、これらの事から平成 25 年 1～9 月の総輸入台数は 6,164,050 台と過去 13 年で平成 13 年以来 2 番目の少なさとなっている。これらの模様をグラフで示したものが図 K である。

図 K



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 25 年 1～9 月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表 1 4 である。

表 1 4 平成 25 年 1～9 月 我が国の完成自転車輸入 主要供給元

供給元	総台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
中華人民共和国	5,975,111	52,485,570	8,784
台湾	171,837	7,299,467	42,479
その他	17,102	1,032,390	60,367
計	6,164,050	60,817,427	9,866

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元である事は明らかである。総台数の 97%、総 CIF 金額の 86.3% を占めている。平均 CIF 単価は 8,784 円であった。これに次ぐのが「台湾」で、台数の 2.8%、総 CIF 金額の 12.0% を占め、平均 CIF 単価は 42,479 円で、「中華人民共和国」産のものとの 5 倍近くになっている。これら 2 つの国・地域で総台数の 99.7%、総 CIF 金額の 98.3% を占めている。

4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年 1～9 月の「国内向け数量」の過去 8 年間の推移を表 1 5 に示す。平成 25 年 1～9 月の「国内向け数量」は過去 8 年間の推移の中で最低となっている。「生産台数」も「輸入台数」も過去 8 年間で最低となっているためである。国内生産の比率は 10.3% で、過去 8 年間の推移の中では平均的と

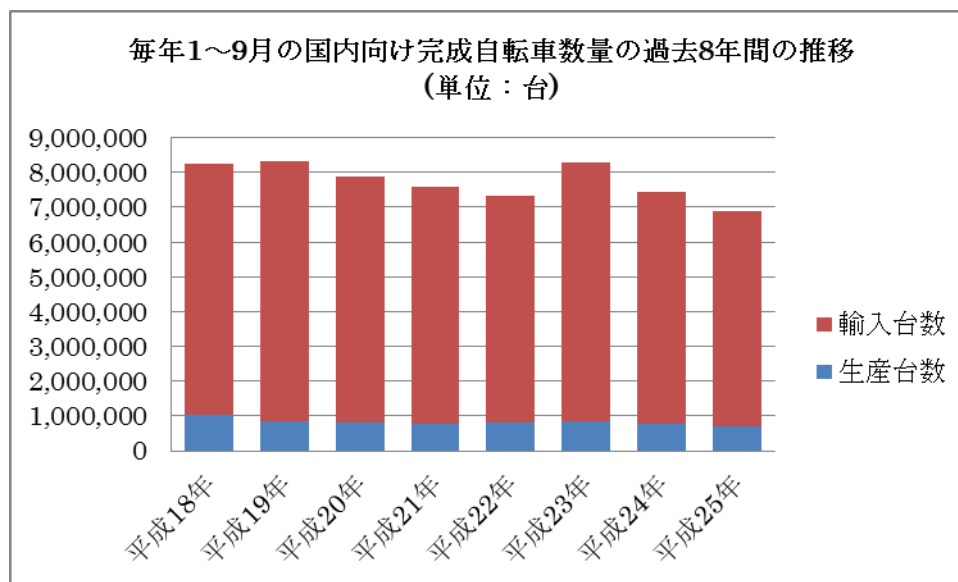
言ってよい水準となっている。また、これらの模様をグラフにより示したものが図Lである。

表 1 5 毎年 1～9 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 8 年間の推移

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成 25 年	710,852	6,164,050	6,874,902	10.3
平成 24 年	781,456	6,645,307	7,426,763	10.5
平成 23 年	831,406	7,439,430	8,270,836	10.1
平成 22 年	797,261	6,532,074	7,329,335	10.9
平成 21 年	792,224	6,805,437	7,597,661	10.4
平成 20 年	810,141	7,055,737	7,865,878	10.3
平成 19 年	854,776	7,472,189	8,326,965	10.3
平成 18 年	1,031,806	7,218,377	8,250,183	12.5

出典：経済産業省生産動態統計調査、財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

図 L



出典：経済産業省生産動態統計調査、財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆ど全てである。平成 25 年 9 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 1 6 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表 1 6 平成 25 年 9 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
ガーナ	43,951	61,391	1,397
カンボジア	39,713	52,726	1,328
ミャンマー	38,860	49,820	1,282
タンザニア	22,651	32,336	1,428
タイ	21,561	30,689	1,423
UAE	17,025	24,388	1,432
香港	13,029	18,109	1,390
ナイジェリア	10,079	15,954	1,583
フィリピン	9,581	13,676	1,427
イラク	7,542	10,234	1,357
その他	16,663	25,812	1,549
計	240,655	335,135	1,393

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 7 に平成 13 年から平成 25 年までの過去 13 年間の毎年 1～9 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は増加傾向にあり平成 25 年 1～9 月は過去 13 年間で最高となっている。本年 1～9 月の総 FOB 金額も過去 13 年間で最高となっている。本年 1～9 月の平均 FOB 単価は 1,359 円で、ここ 5 年ほど大きな変化がない。

表 1 7 毎年 1～9 月の我が国自転車輸出の過去 13 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
平成 25 年	2,323,183	3,157,174	1,359
平成 24 年	2,193,967	2,874,936	1,310
平成 23 年	1,907,450	2,514,470	1,318
平成 22 年	1,751,898	2,328,719	1,329
平成 21 年	1,595,171	2,190,288	1,373
平成 20 年	1,743,907	2,904,059	1,665
平成 19 年	1,420,134	1,935,946	1,363
平成 18 年	960,014	1,034,642	1,078
平成 17 年	879,327	992,025	1,128
平成 16 年	751,450	957,533	1,274
平成 15 年	605,229	815,940	1,348
平成 14 年	479,374	629,893	1,314
平成 13 年	377,067	544,405	1,444

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上